

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	音楽Ⅰ	2	必修科目	1年	
使用教科書	教育芸術者 MOUSA1			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	・自己の表現意図や、鑑賞した音楽の良さについて、ワークシートやグループワーク等の言語化活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づく思考力・判断力・表現力を養う。 ・実技活動やワークシートの活用を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して表現したり鑑賞するための知識や技能を習得する。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
		以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや実技テスト、小テスト、提出課題などを総合的に評価します。
担当者から		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	A 表現	1歌唱	発声のトレーニング				○		○	○		創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト、提出課題、小テストなどをもとに評価する。
5			校歌			○	○			○		・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。			
6			外国語の歌曲	○		○					○	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。			
7			合唱					○	○	○		・様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 ・表現形態の特徴を生かして歌う技能を身につけている。			
8		2創作	読譜のトレーニング			○	○				○	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	
9			リズム創作		○	○					○	・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身につけている。			

10		3器楽	ボディパーカッション				○			○			○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解している。 ・様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解している。 ・にふさわしい奏法、身体の使用などの技能を身につけている。 ・他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。 ・表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけている。	・音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
11			リコーダーの基礎				○	○					○			
12			リコーダーの応用				○	○					○			
1	B鑑賞	1鑑賞	歌劇			○		○					○	次の(ア)から(ウ)までについて理解している。 (ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

〔 芸 術 科 〕 シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	音楽Ⅱ	2	選択科目	2年	
使用教科書	教育芸術社 MOUSA2			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
学習方法	・自己の表現意図や、鑑賞した音楽の良さについて、ワークシートやグループワーク等の言語化活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づく思考力・判断力・表現力を養う。 ・実技活動やワークシートの活用を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して個性豊かな表現や主体的な鑑賞活動を行うための知識や技能を習得		
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
	1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
以上の観点をふまえ、 ・授業の取り組みや実技テスト、小テスト、提出課題などを総合的に評価します。			
担当者から			

[illegible]

令和4年度 〔 芸 術 科 〕 シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	書道 I	2	選択科目	2年	
使用教科書	教育出版 新編 書道 I			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
学習方法	「表現」の内容は、「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」の三つの分野に分かれます。 「鑑賞」においては、古典や作品のさまざまな書美の第一印象による把握を重んじます。		
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
	1	基礎的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	以上の観点をふまえ、 提出作品を中心に用具・用材の扱いを含めた学習活動への参加態度なども含めて総合的に評価します。		
担当者から	「漢字の書(楷書・行書を中心とする)」「仮名の書」においては古典の名跡をもとに習う臨書で、用筆・運筆、また字形や全体の構成などの基本的な技法を習得します。「鑑賞」においては、古典や作品のさまざまな書美の第一印象による把握を重んじ、各人の感じ方や好みなどを明確にし、また、ほかの見方や鑑賞を知ることで、書のよさや美しさを理解する基礎的な力を養います。		

[illegible]

令和4年度

〔 芸 術 科 〕 シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	美術 I	2	選択科目	2年	
使用教科書	光村図書出版 美術1			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
学習方法	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。		
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
	1	基礎的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	以上の観点をふまえ、 意欲的・主体的に活動に取り組み、その喜びを味わおうとしているかを、総合的に評価します。		
担当者から	表現や鑑賞の過程での振り返りを大切にし、「何を、どのように表したかったか」「作品にどのような印象を持ったか」など、自分の思いや考えを持ち、活動に臨んでください。また、前の学習成果を後の学習に生かすように心がけて取り組んでください。創造的な諸活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情と芸術文化を尊重する態度を育てましょう。		

[illegible]

令和4年度 〔 芸 術 科 〕 シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	美術表現	2	フィールド共通選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	デザインによる表現の違い、可能性を学習し、課題設定のもと、卒業制作に取り組む。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基盤の学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	以上の観点をふまえ、 意欲的・主体的に活動に取り組み、その喜びを味わおうとしているかを総合的に評価します。 提出作品は、(1)設定された課題条件に合った作品になっているか。(2)色や形の可能性を引き出しているか。(3)卒業制作では、作品の完成に向けて意欲的に取り組み、意図した表現が実現できたか。を評価します。	
担当者から	表現や鑑賞の過程での振り返りを大切にし、「何を、どのように表したかったか」「作品にどんな印象を持ったか」など、自分なりの思いや考えをもって活動に臨んでください。また、前の学習成果を後の学習に生かすように心がけて取り組んでください。学んだことの集大成として卒業作品を制作します。自由な発想で制作してください。この科目を通して芸術を愛好する心情と芸術文化を尊重する心を育み、様々な芸術作品に興味を持ち続けていってください。	

[illegible]